

さわがせ

号 数 第 3 2 9 号

発行日 令和4年7月1日

発行所 金光教 韮 教会

〒 550-0011

大阪市西区阿波座 2-2-10

TEL&FAX 06(6541) 6313

mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



天地の息吹 今ここに伸びる境内の蘇鉄(6月10日)

キュウリの成長を見て

教会長 鍵山 公生

知恵が走りすぎて

ある先生が次のようなお話をしてくれました。

「あんたは賢い。あんたは賢い。あほうになりや、あほうにならんといかん」と。「あほうになるには、かしこいを超えたらなれる」と先代先生から何度も言われたということです。知恵が走り、理屈で物事を考えすぎて、素直な心になれず、天地の道理に気づかないのでしょうか。

親先祖が熱心にお道の信心をさせていただいておかげを受けてこられました。代が変わってその信心が伝わっていないのです。そして「神さんなんか信じられない」といって教会から遠ざかっていくのです。天地の親神様のお働きも、おかげも昔と何ら変わりなく、私たちをお守りいただいているのに、どうしてなのでしょう。その理由を考えてみました。



子供に言っても分からない

「食物を粗末にすると罰が当たるといいますが、そういうことは言わない方がよい。子供には叱るより教えてやれ。」とお教えくださっています。

「しかし、子供に話しても分からない」といって初めから話さなかったら、なお分かりません。分かっても分からなくても話しておくことです。そのうちにだんだん成長して分かってくるようになります。「あのとき親が言っていたのはこのことだったのか」と気付くときが必ずあります。子供に話すことによって、親自身も理解することがあるものです。

キュウリを育てて

今年の3月下旬にキュウリの苗を3本買ってきて、プランターに一本ずつ植えて育てました。この苗は元々接ぎ木されていて、生長がよいというものでした。

根っ子の周りに藁わらを敷くといいということですが、その藁がなく、倉庫に残っていた荒縄を探し出し、適当な長さに切って敷いてやりました。植えてから毎日毎日水をやり、NHKの朝ドラで放送された小豆を炊く時の祈りの言葉、「おいしゅうなれ、おいしゅうなれ」と祈って混ぜるそのままをして、「大きくなれ、大きくなれ」と念じながら毎日朝晩欠かさず水をかけていました。蔓はどんどん伸びだし、竹に枝を誘引してやると1メートル以上伸び出し、そのうちに黄色い花が咲き、チョウチョや蜂が飛んできて、雄花の花粉を雌花に受粉するお役目をしてくれるだろうと待っていましたが、なかなか思い通りにやって来てくれず、自分の手で受粉すると、花が咲き出してから1週間。むくむくと大きく育ち、20センチぐらいの立派なキュウリが2本実りました。



境内に実るキュウリ



境内に咲くハイビスカスの花

金光様は「菜を抜くとき、地を拝んで抜くというような心になれば、おかげがある。またそれを煮て食べる時、神様いただきますというような心ならば、あたることなし。」と仰せで、お土に感謝して採取させていただきました。

キュウリは緑色濃く、表面にはトゲがあって、新鮮そのもの。早速神様にお供えて、「こんなに素晴らしいキュウリができました」とお礼申し上げました。自分で育てると何ともいえない愛らしさ、

嬉しさが心にあふれてくるのです。

さて自分で育てるといっても、自分がしたのは苗を買ってきてプランターに植え、そこに幾ばくかの肥やしを施し、水を与えるだけです。その後は神様任せで神様のご領分なのです。

キュウリが生長するのに、あの太陽のお光と、お熱と空気。プランターに入れた土と肥料。そして、毎日欠かさず与えたお水。その上に、根っから吸収された栄養分が、葉っぱや蔓の端々まで送られ、そして果実が生育されていくのです。これは育てよう育てようとしてくださる、絶大なる神様のお働き以外にはありません。自分が育てるといっても、そこまで果実を育てることはしていません。それを思うと神様のお働きの偉大さに感謝せずにはおれないのです。

神様のお下がりキュウリを酢の物に料理してもらって、感謝して口に運ぶ。このシャキシャキとした感触と、新鮮な青臭さがまたたまらない。いつもスーパーで買ってくるキュウリと何ら変わりないはずなのに、特に新鮮でおいしく感じる。「食物はみな人の命のために、天地の神の作り与え給うものぞ、何を飲むにも食べるにも、ありがたくいただく心を忘れなよ」とみおしえくださっています。

たまには自分で作物を育てることはいいことです。自然にできるのだと軽く感じていたものが、親神様の働きの偉大さを心に感じさせてくださるのです。

このように作物を育てようとしてくださる親神様の働きは、植物だけではありません。私たち人間も、動物も、稲を始め植物の一切のものが天地自然の絶大なるお働きによりお育ていただいているのです。それを今更のようにありがたく身にしみてきます。



天地の道理を知ること

世の中にその働きをありがたいと感じず、ただの自然現象だとあしらう人がありますが、もったいないことです。生神金光大神様はこの素晴らしい働きを、「天地金乃神様のお働き」であるとお教えてくださいました。

日々の生活の中でいろいろな問題が起こってきて、どうすればいいかと迷うことがあります。そのときはまず教会で御取次ぎをいただき、金光様の教えに沿った生き方を教えていただき、神様や人々が喜ばれる生き方になるようにと願うことです。そしてもう一つ分からないことがあれば、信心の元、天地の基本に戻り、これからの道を求めていくところに歩む道が開かれていきます。

「信心の道を迷わず失わず、末の末まで教え伝えよ。」と親神様はお祈りくださっています。

月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして
ご慰霊させていただきます。
ご都合お繰り合わせをいただかれ、ご参拝下さい。
(7月24日、8月24日ともに午後2時より)

夏越の感謝祭

(6月30日)

半年間の御礼とご無礼をお詫びし、暑い夏を健康に過ごさせていただけるようお願いする、夏越の感謝祭がお仕えになり、その後人形行事が行われました。





7月

- 1日(金) 月例祭執行 午後2時
- 2日(土) 御本部月参拝 午前6時出発
- 3日(日) うりわり墓参 午前7時
- 10日(日) 月例祭執行 午前10時30分
- 15日(金) 信徒共励会 午前10時
- 11~24日 夏季信行期間
- 24日(日) 月例霊祭執行 午後2時

祭典後教話、河内松原教会 前田俊一師

講題：「神様が生かして下さい」

8月

- 1日(月) 月例祭執行 午後2時
 - 7日(日) 少年少女全国大会参加
・御本部月参拝
 - 11日(祝) うりわり墓参 午前7時
 - 14日(日) 月例祭執行 午前10時30分
 - 19日(金) 信徒共励会 午前10時
 - 24日(水) 月例霊祭執行 午後2時
- 祭典後教話、大阪府連盟布教部講師



9月

- 1日(木) 月例祭執行 午後2時

さわかせ賛助会

さわかせ賛助会追加分を掲載いたします。(敬称略)

ご協力ありがとうございました。



金谷賢一さんが、御本部教団独立記念祭時に、
典楽(篳篥)のご奉仕をされました(6月12日)

さわかせは、韃教会ホームページからもお読みいただけます。



金光教うつほ教会

検索

<https://utubo.konko.info/>

天地金乃神大祭
5月8日



← 参拝者代表玉串奉奠



↑ 献饌行事で、ロウソクをお供えする鍵山結生君



↑ 講師の佐野教会長
福嶋光先生

